



＜来週の資金需給予想とイベント予定＞

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
11/11 (月)	+ 500	+ 1,600	+ 2,100	国庫短期証券発行・償還 (3M-6M)	国債補完供給 CP等買入 + 7,800 ▲ 100		日：日銀金融政策決定会合における主な意見 (10月30・31日分) ：貿易収支 (9月)
11/12 (火)	+ 1,000	▲ 6,000	▲ 5,000	国債発行 (物連10年)			
11/13 (水)	トン	+ 3,000	+ 3,000	源泉所得税揚げ	共通担保 ▲ 8,000		日：国内企業物価指数 (10月) 米：CPI (10月) 欧：ユーロ圏 鉱工業生産 (9月)
11/14 (木)	トン	▲ 9,000	▲ 9,000	国債発行 (30年)			米：PPI (10月) 欧：ECB議事要旨 (10月開催分) 欧：ユーロ圏 GDP (3Q)
11/15 (金)	+ 1,000	▲ 300	+ 700	国債発行償還 (個人)			日：鉱工業生産 (9月) 米：鉱工業生産 (10月)

＜インターバンク＞

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比1兆8,400億円増加の548兆800億円から始まった。その後、国債買入オペや国債発行等の要因により増減し、8日は546兆3,200億円 (速報) で越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.227%から始まった。その後もビッドサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばい圏で推移した。

ターム物は1W～3W物0.23%～0.30%のレンジ、1M～3M物0.28%～0.35%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、国内では、11日に日銀金融政策決定会合における主な意見 (10月30・31日分) の公表、海外では13日に米CPI (10月)、14日にユーロ圏GDP (3Q) の公表などがある。

〔無担保コールレート〕

	予想レンジ (%)
O/N	0.220 ～ 0.228
1M	0.28 ～ 0.45
2M	0.30 ～ 0.45
3M	0.30 ～ 0.45
6M	0.45 ～ 0.65

＜レポ＞

足許GC取引は週初+0.23%～+0.24%のレンジで出合い。輪番オペがあった6日にも水準に変化は見られなかった。7日は+0.23%付近から出合い始めたが、引けには+0.20%まで低下した。短国の発行が重なる週末は+0.23%～+0.24%の出合いが中心となった。

SC取引は2年460～466回債、5年149～173回債、10年350～376回債、20年180～190回債、30年65～84回債、40年13～17回債などに引合いが多く見られた。

〔オープン市場〕

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.12 ～ 0.20
CP 3M	0.30 ～ 0.50

＜CP＞

今週の入札発行総額は約7,400億円で、週間償還額の5,900億円を上回った。発行残高は先週末時点の24兆7,866億円から、11月7日時点で24兆3,306億円に減少した。発行市場は、石油製品、鉄鋼、建設業、卸売業などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは銘柄や期間等によりばらつきが見られ、1M物から3M物で、0.25%から0.40%近辺での出合いとなった。先週に引き続き、1M物の内、発行量の少ない銘柄については、政策金利の0.25%に限りなく近い値で推移している。

来週の償還額は、1兆300億円となっている。発行市場は、大型案件の償還に対して一定の資金調達需要があることから、相応の発行が見込まれる。発行レートは、1M物では0.25%近辺での出合い、12月の日銀決定会合を超える案件については、日銀の政策修正への警戒感から、レート水準を探る展開が見込まれるであろう。

＜TDB＞

7日の6M (1267回債) の入札は、最高落札利回り0.2007% (前回債0.0862%)、平均落札利回り0.1886% (前回債0.0702%) となった。

8日の3M (1268回債) の入札は、最高落札利回り0.0502% (前回債0.0150%)、平均落札利回り0.0257% (前回債0.0086%) となった。

来週の入札は、15日に3Mが予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。